

## 日銀短観(2012年9月調査)予測

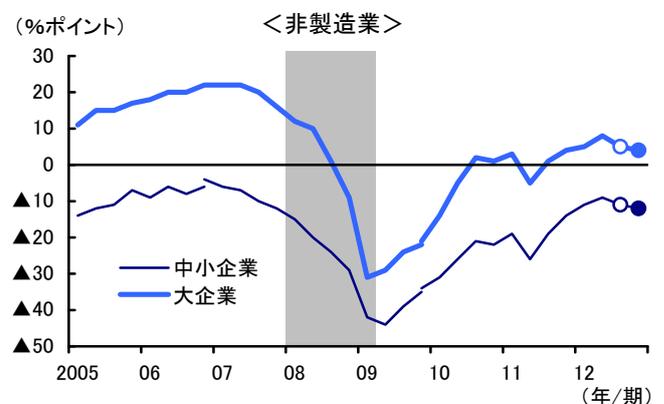
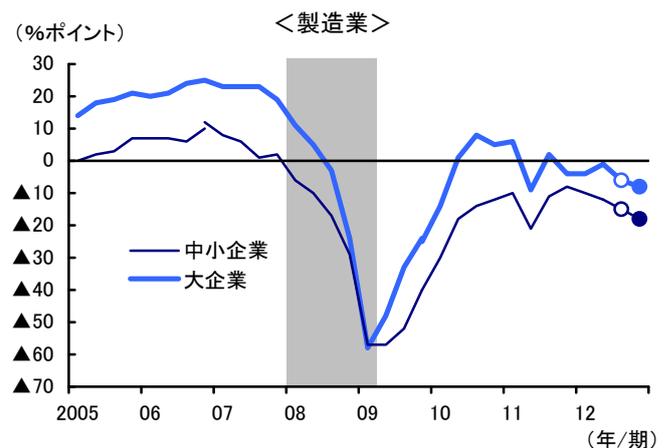
- (1) 10月1日公表予定の日銀短観(2012年9月調査)では、大企業・製造業の業況判断DIは▲6%ポイントと、前回調査対比▲5%ポイントの悪化を予想。エコカー補助金予算払底を見込んだ自動車生産の減少により、輸送機械だけでなく、素材など関連業種の業況も悪化。さらに、海外景気の減速による輸出減少により、電気機械など加工業種でも業況が悪化した見込み。
- (2) 大企業・非製造業の業況判断DIは、+5%ポイントと前回調査対比▲3%ポイントの悪化と予想。復興需要を背景に建設関連で改善したものの、天候不順によって秋冬物商品が不振だった小売業や、ガソリン価格上昇によって収益が圧迫された運輸業で大きく悪化した見込み。
- (3) 先行き(12月)は、大企業・製造業で▲8%ポイントとさらに悪化する見込み。海外景気の先行き不透明感が強まっていることを受け、輸出依存度の高い業種を中心にマイナス幅が拡大する見込み。非製造業でも+4%ポイントと悪化する見込み。エコカー補助金の払底による自動車販売の反動減により、小売業で悪化すると予想。

(図表1)業況判断DI(「良い」-「悪い」)  
(%ポイント)

		(実績)		(当社予測)	
		2012年 3月	2012年 6月	2012年 9月	先行き
大企業	製造業	▲4	▲1	▲6	▲8
	非製造業	5	8	5	4
	全産業	0	3	▲1	▲2
中堅企業	製造業	▲7	▲6	▲10	▲12
	非製造業	▲1	3	0	▲1
	全産業	▲3	0	▲4	▲5
中小企業	製造業	▲10	▲12	▲15	▲18
	非製造業	▲11	▲9	▲11	▲12
	全産業	▲10	▲10	▲12	▲14
全規模	製造業	▲7	▲8	▲11	▲14
	非製造業	▲5	▲3	▲5	▲6
	全産業	▲6	▲4	▲8	▲9

(資料)日本銀行「短期経済観測調査」などを基に日本総研作成

(図表2)業況判断DIの推移



(資料)日本銀行「短期経済観測調査」などを基に日本総研作成  
(注1)○は最近(9月)予測値、●は先行き(12月)予測値。  
(注2)シャド一部は景気後退期を表す。

- (4) 2012年度の設備投資計画（土地投資額を含み、ソフトウェア投資額を除く）は、全規模・全産業ベースで前年度比+4.2%と、前回調査対比+0.2%上方修正されると予想。
- (5) 内訳をみると、大企業・製造業が前年比+12.2%（▲0.1%の下方修正）、大企業・非製造業が同+2.8%（▲0.2%の下方修正）といずれも下方修正を予想。メガソーラー等再生可能エネルギー事業への新規参入など、環境関連で新たな投資の動きが顕在化するものの、円高や海外景気の先行き不透明感など事業環境の悪化を背景に、企業の設備投資スタンスは慎重化する見込み。

(図表3)設備投資計画  
(土地投資額を含みソフトウェア投資額を除く、前年度比) (%)

		(実績) 2012年6月		(当社予測) 2012年9月	
		2011年度 (実績)	2012年度 (計画)	2012年度 (計画)	<修正率>
大企業	製造業	▲ 4.2	12.4	12.2	<▲ 0.1>
	非製造業	▲ 1.5	3.0	2.8	<▲ 0.2>
	全産業	▲ 1.3	6.2	6.0	<▲ 0.2>
中堅企業	製造業	21.2	7.2	7.6	< 0.4>
	非製造業	▲ 6.7	2.3	2.2	<▲ 0.0>
	全産業	9.0	4.3	4.4	< 0.1>
中小企業	製造業	22.2	▲ 14.3	▲ 10.0	< 5.1>
	非製造業	▲ 11.6	▲ 1.6	▲ 0.9	< 0.7>
	全産業	▲ 2.7	▲ 6.6	▲ 4.5	< 2.3>
全規模	製造業	3.1	7.2	7.8	< 0.6>
	非製造業	▲ 4.5	2.3	2.2	<▲ 0.1>
	全産業	▲ 0.0	4.0	4.2	< 0.2>

(資料) 日本銀行「短期経済観測調査」などを基に日本総研作成